

大会関係者 各位

令和3年度 第41回全国高等学校空手道選抜大会(代替大会)における
新型コロナウイルス感染者等への対応及び注意事項について

新型コロナウイルス感染症への対応

- 1 全国高等学校体育連盟「令和3年度 全国高等学校総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針【第2版】」に準じ、(公財)日本スポーツ協会及び(公財)全日本空手道連盟のガイドラインに則って対応する。参加校は、事前に基本方針の内容を十分に確認のうえ順守を徹底する。
- 2 各参加校にコロナ対応担当者を設置する。(監督・引率者の兼務を可とする。)
- 3 大会参加者は、健康チェックシート表(様式1)を大会2週間前から大会参加終了日まで記録し、保存期間(1月以上)を定めて保存する。
会場に入場する日には、提出用紙(様式2-1)を学校ごとに毎日提出する。
- 4 大会開始前2週間及び競技期間中に、感染者が発生した場合には、速やかに大会実行委員会に連絡のうえ、報告書(様式3)で発生状況の詳細を報告する。
※感染者の発生日:症状が出始めた日。不明の場合は陽性と判定された検体採取日とする。
※濃厚接触者の発生日:感染者と接触した日(大会に最も近い日)とする。
- 5 競技期間中に発熱等の症状がある場合は、まずは地域で身近な医療機関に電話で相談する。
医療機関に迷う場合は、受診・相談センター 03-5320-4592(24時間対応)に相談する。
- 6 感染者等の移動や輸送は参加校の責任で行う。
- 7 感染者等の発生による大会への参加等の可否判断については、医療機関等の指示を遵守した上で参加校の責任において行うことを原則とする。
学校長は判断の結果について、届出(様式4-1)又は、(様式4-2)を実行委員会に提出する。

感染者発生時の対応

- 1 大会開始前2週間に発生して、感染者となった選手は出場を辞退する。他の選手は、医療機関等の指示に従い競技参加の可否等について、当該校の責任で判断する。
※発生から14日間経過する前に、退院もしくは宿泊療養等を解除された場合であっても出場を辞退する。
※発生から15日間以降に回復し、且つ当該校の試合が残っている場合の、競技への復帰可否については、全国高体連空手道専門部及び実行委員会の判断とする。
※大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先事項とするため、「医療機関等の指示」が示

されるまでは、当該校は会場に入場できない。

2 大会期間中に感染者が発生した当該出場校は大会出場を辞退する。

濃厚接触者発生時の対応

1 大会開始前2週間に発生して、濃厚接触者となった選手は出場を辞退する。他の選手については、医療機関等の指示に従い競技参加の可否等について、当該校の責任で判断する。

※発生から15日間以降に回復し、且つ当該校の試合が残っている場合の、競技への復帰可否については全国高体連空手道専門部及び実行委員会の判断とする。

※大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先事項とするため、「医療機関等の指示」が示されるまでは、当該校は会場に入場できない。

2 大会期間中に発生して、濃厚接触者となった選手は出場を辞退する。他の選手については、医療機関等の指示に従い競技参加の可否等について、当該校の責任で判断する。

※大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先事項とするため、「医療機関等の指示」が示されるまでは、当該校は会場に入場できない。

体調不良者発生時の対応

1 大会開始前2週間及び大会期間中に体調不良者が発生した場合は、医療機関等の指示に従う。

※大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先事項とするため、「医療機関等の指示」が示されるまでは、当該校は会場に入場できない。

その他

1 競技終了後（2週間）に感染者が発生した場合は、当該校は保健機関の指示・要請等の内容を大会実行委員会に報告する。

※参考ホームページ

全国高等学校体育連盟「令和3年度 全国高等学校総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針【第2版】

https://www.zen-koutairen.com/pdf/basic%20policy_20210525.pdf

日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン【令和3年11月5日更新版】」

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/somu/doc/guideline_R3_1105.pdf

全日本空手道連盟「感染拡大防止ガイドライン【大会用】」

<https://www.jkf.ne.jp/imp-notice/20200622/16570>

感染防止の注意事項

- 1 マスクの着用（試合時を除く）

選手以外は、試合中も原則マスクを着用する。
- 2 入場について
選手、大会役員、競技役員（以下、大会関係者）の入場については、時間差を設ける。
- 3 受付及び競技中の記録席について
人と人が対面する場所には、アクリル板で遮蔽する。
- 4 手洗い、手指の消毒について
こまめに手洗いと消毒を行い、放送でも呼びかける。会場内に手指用の消毒液を設置する。
- 5 会場内の消毒作業について
 - （1）アリーナ内の消毒作業については、各種目終了時に行う。
 - （2）座席、練習会場、トイレなどの消毒作業は昼休憩と各日程終了後に行う。
- 6 ソーシャルディスタンスの確保について
座席、練習会場、トイレなど密接を避ける。
- 7 競技前の注意事項について
従来とは異なります。選手の皆さんは次のことに注意してください。
 - （1）形
試合会場への入場時はマスクを着用する。（試合中は、マスク着用の義務はない）
形名は、大きな声でなく抑えた発声とする。団体形の場合は1名のみ発声とし、競技中の気合発声は可とする。
 - （2）組手
形と同様に入場時はマスクを着用する。原則としてメンホーの内側に専用の口元シールドの着用を義務付ける。競技中の気合発声は可とする。
試合中、シールドが取れた場合、試合を一旦停止し、ソーシャルディスタンスを保ちながら再着用して試合を再開する。
- 8 禁止事項
次の行為は、感染防止の観点から行わないこと。
 - （1）握手・ハグ・ハイタッチ・円陣・選手同士の声を出しての応援・アドバイス
 - （2）飲物・食べ物の回し飲み等
 - （3）贈り物の授受・お出迎えやお見送り

9 大会中止

開催県の感染状況及び国内の感染状況によっては、中止となる場合もある。

その際、大会参加料の返金は原則としておこないませんが、時期によって執行した予算を除く額を可能な限り返金することとなります。全額返金とはならない場合があることをご理解ください。

※参考ホームページ

日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン
【令和3年11月5日更新版】」

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/somu/doc/guideline_R3_1105.pdf

全日本空手道連盟「感染拡大防止ガイドライン【大会用】」

<https://www.jkf.ne.jp/imp-notices/20200622/16570>